

《ヒヤリハット!》が改善されます

自治会や各団体から寄せられた約90件の(ヒヤリハット)案件について、先月、岐阜市の担当部門と地域代表による現地調査が行われ、改善策の検討が始まりました。私たち住民が注意すべき危険情報や守るべき安全事項については、今年度中に「ヒヤリハット」マップにしてお届けします。 □■



道幅狭い・事故多発@北山南



飛出し危険@柏台の坂



ついで速度が↑@東公民館~東小前⇒ 制限30 和だが



《近隣助け合い》標語が決まりました

社協芥見東支部に寄せられた作品84点から審査の結果、次の通り選ばれました。おめでとうございます。

〳まめなかな 〳いつも笑顔で 〳助け合い	〳桐が丘・西村 恒子さん	〳長期不在 〳声をひとかけ 〳セキユリテ	〳紅葉が丘・野田 静子さん	〳さりげなく 〳心配りや 〳心配りを	〳紅葉が丘・杉山 利久さん	〳車椅子 〳声かけ 〳手をそえ 〳笑顔そえ	〳北山・増田 律子さん	〳入選 〳いざという時 〳日々の絆が 〳力とな	〳匿名希望	〳特選 〳覚えよう 〳近所の人の 〳顔と声
----------------------------	--------------	----------------------------	---------------	--------------------------	---------------	--------------------------------	-------------	----------------------------------	-------	--------------------------------

『まめなかな、いつも笑顔で助け合い』

——桜台支部・桂川 広司

この標語を思い立った背景を述べてみます。

私は、郷里が飛騨で、「まめなかな?」は、挨拶の常用語となっており、直訳すれば「お元気ですか?」になりますが、この言葉の中には、親しさ、温かさ、思いやりなど、ひと言で表現できない意味が込められており、私の好きな方言の一つです。

隣近所のお付き合い、また、一般の人間関係においても、まずは優しさと思いやり、そして笑顔での挨拶から始まる、と考えます。このような思いからこの句が頭に浮かびました。

今、地域では、高齢化がどんどん進んでいます。近隣の助け合い、地域の連携を通じての「住みよい町づくり」が今後の課題と言えましょう。選んでいただいた標語が地域の活性化に役立てば幸いです。 □■



11/19

入選作の発表・表彰と記念講演会(次頁)が行われました

《青色回転灯》防犯パトロールを皆で

連合会では、来年3月から、青色回転灯を装着した自動車地域を巡回して、犯罪の発生を抑え、青少年を守っていく運動を推進する計画です。

自治会や各団体の役員だけでは運営が難しく、自治会員の皆さんのご参加をお待ちしています。

《無事故で》明るく元気な年末年始を

——交通安全協会芥見東支部長・宇野さんより

歩行者・自転車は、以下に気をつけてください:

1. クルマが通り過ぎてから横断する(特に夜間)
 - ・人から車が見えても車からは人が見えづらい。
2. 走り去ったクルマの直後を横断しない
 - ・対向車が来るかも!? よく確める。
3. 夜間反射器材(夜光タスキなど)を活用する
 - ・黒っぽい服の歩行者は、クルマから視にくい。
 - ・反射器材は100m離れてもクルマから見える。
4. 自転車は夜間必ず点灯し、存在をアピールする
 - ・無灯火の自転車は歩行者以上に見えづらい。

配布

大洞
4-78

東山
3-55

北山
38-373

コモン
6-86

桜台
23-338

桜市
41-309

柏台
31-340

柏市
26-220

桐丘
23-202

桐市
6-47

紅葉
21-270

紅市
16-144

桜2P
1-25

計239
/2487

北山団地《向こう三軒両隣》会

—北山支部・古瀬 浩平さん

この会は、平成5年の雛祭りの日に発足し、今では11軒・21人。定例懇親会を春・秋に当番を決め実施しています。花見、バーベキュー、忘年会、新年会もやります。さらに中国語講座（麻雀）を奇数月に開いたり、去年は中部国際博にも行きました。

天気の良い日は、午後8時より北山一周の散歩をしながら楽しく会話を弾ませています。

けれどもこれからお互い高齢に向かい、身内に不幸も出てきます。やがて〈独り暮らし〉になるやも知れません。そんな時、せめて認知症にならぬよう、次のことにも気をつけたいと思います。

- ①(新しい)人と付き合う
 - ②(新しい)趣味を持つ
 - ③お洒落をする
 - ④観察しながら散歩する
 - ⑤毎日30分昼寝する
 - ⑥魚や果物を毎日摂る
- 食生活ジャーナリスト・佐藤達夫さんの講演から引-



特別寄稿 「キモイ」「ウザイ」「死ね」

—藍川東中学校・加納 博明 校長



最近、子どもたちがよく遣う言葉に「キモイ」とか「ウザイ」とかがあります。この言葉を聞いてどんな印象を持たれますか。子どもたちが遣っているのを聞いていると普通に遣うことが多いようです。でも、実際にこの言葉を言われた子どもはとてもイヤな気持ちになるそうです。

いじめの問題がクローズアップされるようになってから、「言葉の暴力」のことにについてまた叫ばれています。しかし、先ほどの「キモイ」などという言葉は、学校でも家庭でも地域でも中学生に限らず小学生も高校生も遣っています。でも、このことが「言葉の暴力」に簡単になるとしたらとても怖いことです。「こういう言葉を遣わないように！」というのは、簡単に言えます。「学校では『キモイ』は使用禁止」というのも簡単です。きっと藍川東中や芥見東小の子どもたちは禁止したら、遣わなくなるでしょう。

でも、ただ禁止するだけでは何の解決にもなりません。一度、各ご家庭や地域でこれらの言葉についてじっくりと考えていただけたらと思います。そして、この芥見東から「言葉の暴力」がなくなるよう学校と一緒に考えていただき、住みよい町になることを願っています。 □■

《東中》空き缶リサイクルにご協力を

今月の回収は18日(第3月曜)、中学生のお宅、または翌火曜午前中に学校までお届けください。



藍川東中学校 校内駅伝大会
◎15日(金) 9時25分スタート◎
紅葉が丘 《声援してあげてね》
～山田川東の田園を一周します

一味違う健康ウォーキングを楽しみました

